

バプテスト主義と信仰的忍耐

大富伝道所開設の経過 1992年
～ 仙台教会の歴史シリーズ その26 ～

小林孝男

大富（たいとみ）伝道所開設の経過については、仙台教会が1995年（平成7）3月26日に発行した『献堂四十周年記念誌』の65頁に、「大富伝道所開設経過」¹として詳細に記録されています。執筆者名は明記されていませんが、内容から判断すると当時仙台教会の牧師だった金子純雄先生がまとめたものと思われます。それを読めば大富伝道が開設されるまでの経緯を正確に知ることができます。但し記念誌の紙面の都合で、1頁分のスペースにたくさんの情報を詰め込まざるを得なかったため、多少読みづらさが生じています。そこで「仙台教会の歴史シリーズ その26」では、この「開設経過」を読みやすくするため、スペースを十分に取り、また何か所か文言や文章表現を変更・追加・修正し、脚注を加え、伝道所開設の経過がより分かりやすくなるよう工夫して再掲載することとしました。

お読みいただくと分かりますが、伝道所を生み出すにあたっては、執事会や総会を何回も開催し話し合いを重ねています。個人の情熱を突出させて事を進めるのではなく、教会としての合意作りを丁寧に行うことこそを、スタートラインとしています。その背後には、バプテスト主義を大切にする金子牧師の堅実なリーダーシップと豊かな見識、そして待つことを厭わないトニー・ウッズ宣教師の信仰的忍耐があったことを、私たちは忘れてはならないのでしょうか。

■1988年(昭和63)

日本バプテスト宣教団が、仙台市内通町にあった宣教師館（ポートライト師宅）²を売却し、市内広瀬町とパルタウン大富に宣教師館を新築。同時に大富団地入口に土地300坪を購入

■1989年(平成1)

4月

ウッズ師一家、仙台北教会に転会し同教会吉岡伝道所での奉仕を開始。また市内川平からパルタウン大富の新宣教師館に移転（7月）³

12月15日(金)

同日開催の定例執事会の席上、ウッズ宣教師から大富に伝道所を設けたいとの希望と同時に、仙台教会が母教会となることの打診を受ける。なお、「教会が伝道所を開設するなら、大富の宣教団所有の土地の内100坪を購入価格で譲ってもよい」と宣教団理事会で決議されているとのこと。

この件については、同師のビジョンや願いを直接教会員に訴えて頂き、その上で検討することとする。

■1990年(平成2)

01月07日(日)

ウッズ師、仙台教会の主日礼拝で説教(「向こう岸に渡ろう」)⁴。礼拝後、臨時執事会開催

01月14日(日)

週報の牧会通信欄⁵で、執事会で聞いたウッズ師の願いを紹介

02月18日(日)

執事会名で「大富伝道についてQ&A」を発表。大富伝道についての執事たちの個人的な感想や意見を牧会通信で紹介(1~4月)⁶

03月11日(日)

定期(予算)総会開催。大富伝道を議題とせず、懇談に止める。

05月13日(日)

定期(報告)総会開催。大富伝道について積極的な姿勢で取り組むことを確認⁷。取り敢えずウッズ師の休暇帰国中⁸、既に同師宅で開かれている家庭集会を仙台教会の責任で継続することを決定。伝道所献金を呼び掛ける。

06月05日(火)

執事会で伊東信吉、公美子夫妻を大富集会責任者に選任⁹。以後月2回(第2、4金曜日)の集会を欠かさず継続。教会から平均10~15人が参加

06月10日(日)

ウッズ師一家、1年間の休暇帰国のため離仙

10月21日(日)

大富伝道について考える合同例会開催

12月09日(日)

大富地区にクリスマス集会¹⁰の案内チラシと聖書通信講座案内のトラクトを戸別配布。クリスマス集会は子供を含めて出席者50人を数える。

12月30日(日)

臨時執事会で、新年度予算総会において大富伝道所設置に向けて具体的な提案と準備を行うことを確認(執事会では9月4日、10月2日、12月2日、さらにその後、1991年1月6日、2月3日、2月26日に定例執事会、拡大執事会、新旧執事会を開き、大富伝道所設置について、その段取りや準備について協議を重ねる)

■1991年(平成3)

03月10日(日)

定期(予算)総会開催。大富伝道所設置を決議¹¹。但し、土地取得や礼拝開始、連盟への申請の内容、時期などは、ウッズ師の帰国を待って協議することとした。

07月10日(水)

ウッズ師一家、帰任途上長男トレバー発病のため、日本帰国を一時見合わせざるを得ないとの報

告が入る¹²。

09月28日(土)

10月10日開催予定の伝道所予定地での音楽伝道集会と芋煮会の案内チラシを一斉戸別配布。しかし、当日、雨天中止となる。

10月06日(日)

大富伝道所開設の段取りと建築計画について全員協議会を開催

12月20日(金)

大富でクリスマス集会。ウッズ師からのメッセージとトレバーの近況を伝えるビデオを鑑賞。同ビデオは22日(日)、教会の第二主日礼拝¹³でもプログラムに加えられ、大きな感銘を与える。

■1992年(平成4)

01月12日(日)

予算総会の準備のための拡大執事会で伝道所開設タイムスケジュールを協議

01月19日(日)

拡大執事会での協議を基に各会例会で意見交換

02月05日(水)

伊東信吉さんが私費で渡米。デンバーのトレバーを見舞い、ウッズ師らを励ます。この間、手紙やファックスでウッズ師と教会との交信が続く。

02月22日(土)

新旧合同執事会で、総会に提案する大富伝道所開設のタイムスケジュールと集会の持ち方について執事会案を確定

同日、トレバー・ウッズ召天¹⁴

03月08日(日)

定期(予算)総会開催。4月から日曜日午後の礼拝を行うという執事会案に対し、午前中の主日礼拝をとの意見が半数近くあり、議長裁定で本議案は執事会へ差し戻しとなる。

04月04日(土)

ウッズ宣教師夫妻帰仙、5日(日)午後2時から仙台北教会でトレバー・ウッズの記念会

07月12日(日)

臨時総会開催。大富伝道所での主日礼拝を最初から日曜日午前中に行うこと、したがって教会は伝道所のための教会員を派遣する、派遣希望者は7月12日から8月15日までに金子牧師に申し出ること、8月16日に派遣を申し出た人たちと拡大執事会で協議すること、次回の臨時総会で今後のスケジュールを確認することを承認・決定¹⁵

08月16日(日)

拡大執事会開催

09月13日(日)

臨時総会開催。9名の会員¹⁶と5名の家族の派遣を承認。10月4日から主日礼拝を始め、正式に仙台バプテスト教会大富伝道所を発足させること、ウッズ師を伝道所担当牧師として招聘することを決議¹⁷。会堂建築に至るタイムスケジュール、教会と伝道所の関係についてなど確認すべき事項を確認。伝道所に派遣される執事2名の後任者を選出

09月27日(日)

礼拝で派遣式、愛餐会

10月04日(日)

大富伝道所主日礼拝開始¹⁸

■1993年(平成5)

01月31日(日)

臨時総会。大富伝道所不動産取得計画並びに「教会開拓支援」を連盟に申請する件を決議¹⁹

04月25日(日)

起工式²⁰

05月09日(日)

定礎式²¹

08月22日(日)

伊東信吉さん、仙台教会で説教(「教会をたてる」)²²

08月28日(土)

建築仕様確認

08月29日(日)

バディ・ウッズ師、仙台教会で説教(「悲しみとなぐさめ」)²³

09月08日(水)

小野建業から建物引き渡し

09月09日(木)

引っ越し。物品搬入

09月12日(日)

献堂式の案内チラシ戸別配布(1,500枚)

09月23日(木)

大富伝道所献堂式²⁴

その後、大富伝道所は順調に成長していきます。1996年3月にウッズ宣教師夫妻は休暇帰国²⁵しますが、帰任後、長野オリンピックでの宣教団の活動に従事する新しい任務が与えられ、大富伝道所から急遽転出することになります²⁶。想定外の出来事でしたが、伝道所のメンバーは動じることなくこの事態を信仰的に受け止め、牧師代務者に選任された伊東信吉さんのリーダーシップのもと、伝道所は主の群れとして豊かに養われ、益々整えられていきます。

そして1998年4月には新たに伝道所専任牧師として浦肇先生を迎え、さらに教会組織に向けての諸準備(教会の信仰告白やビジョン、教会規則の制定等)に着々と取り組み、ついに1999年(平成11)6月26日(土)に教会組織・感謝礼拝を行い、大富キリスト教会が誕生することになります²⁷。

-
- 1 大富教会が2012年に発行した『伝道所開設20周年記念誌』にも、ほぼ同じ内容で掲載されている。
 - 2 市内通町 2-4-11
 - 3 週報(1989/07/16)
 - 4 説教箇所マルコ 4:35～41、週報(1990/01/14_先週の説教要旨)
 - 5 週報(1990/01/14_私達の「向こう岸」とは)
 - 6 週報(1990/01/28_向こう岸へ渡ろうパートII_渡邊真人)、週報(1990/02/25_伝えずにはおれない喜び_伊東信吉)、週報(1990/03/25_棚ボタを食べて良いのか_小林孝男)、週報(1990/04/29_大富伝道について_大山英明)
 - 7 資料(1991/05/12_1990 報告総会)。この報告総会議案書に、1990年5月13日に行われた1989年報告総会の議事録が収録されている。その中に4番目の議題(「大富伝道所の設立について」)の審議結果について次のように記録されている。「当初、懇談事項として提出されたが、ウッズ師から現況報告と共に再度、協力の訴えがあり、意見を交わす中で、大富伝道を前向きに受け止めていく方向で検討を進めることが、賛成多数で決められ、取敢えずはウッズ師の休暇帰米中、現在同地の宣教師館で行われている家庭集会を仙台教会の責任で継続することとなった。検討の進め方や責任者の人選等については執事会に委託された。」
 - 8 週報(1990/06/10)。ウッズ師は1年間の休暇帰国のため6月10日離仙。帰国中、ゴールデンゲート神学校で伝道学を講じる予定
 - 9 週報(1990/06/17)
 - 10 週報(1990/12/16)、大富集会のクリスマスは20日(木)にクリスマス・キャロリング、21日(金)にクリスマス・パーティー
 - 11 資料(1991/03/10_1991 予算総会)
 - 12 週報(1991/09/15)。ウッズ夫妻からトレバーの近況報告
 - 13 第二主日礼拝とは、午後5時からの英語礼拝のこと
 - 14 資料(2012/10/06_大富教会の皆さんへ by Woods_伝道所開設20周年記念誌)。召天日を2月23日とする資料があるが、ウッズ夫妻の記述に従う。1975年10月28日生まれ、享年16才
 - 15 週報(1992/07/19_大富関連)
 - 16 資料(1992/09/13_臨時総会議事録)。教会員9名の派遣者は石川卓・栄子夫妻、伊東信吉・公美子夫妻、大山英明、菊田弘子、伊東優、大山千尋、リネー・オデール。その家族として派遣された5名は、伊東翼、大山まき子、大山耕平、大山のどか、ブライアン・オデール。また、仙台北教会からトニー&マーシャ・ウッズ、ネーサン・ウッズの3名が伝道所開設メンバーとして加わり、12名のクリスチャンたちとその家族たちによって大富伝道所の歩みが開始されることになる。
 - 17 週報(1992/09/20)、資料(1992/09/13_臨時総会議事録)
 - 18 礼拝場所は会堂が建築されるまでウッズ師の宣教師館を使用
 - 19 資料(1993/05/16_1992 報告総会)。土地取得代2,400万円、会堂建築代3,600円、総計6,000万円の枠内で計画を進めることとし、半額の3,000万円を連盟に申請することとする(これはあくまでも概算)
 - 20 週報(1993/04/25、05/02)
 - 21 週報(1993/05/02)
 - 22 説教箇所マルコ 16:20、週報(1993/08/29_先週の説教要旨)
 - 23 トニー・ウッズ師の父君。説教箇所マタイ 5:4、週報(1993/09/05_先週の説教要旨)
 - 24 週報(1993/09/19)
 - 25 週報(1996/03/03)
 - 26 資料(2012/10/06_大富伝道所開設経過_伝道所開設20周年記念誌)、週報(1997/03/23)
 - 27 教会設立の経過については、資料(2012/10/06_大富伝道所開設経過_伝道所開設20周年記念誌収録)に詳しく記録されている。